

給付番号

※記入しないでください。

教育研究サークル助成金成果報告書

2024 年 3 月 28日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会京都支部
支部長 河 口 隆 洋 様

サークル名

代表者

申請者（記入者）

サークル名	[REDACTED]	
研究（活動）期間	2023年度	
	若手の授業力向上にかかわる研究会活動	
概要（600字～800字にまとめてください。）		
1 活動の概要 毎年初任者を2名ずつ受け入れ、人材育成を担っている。また、若手講師も多く教壇に立っている。その中で変化の激しい社会に対応する教育活動を進めることが求められている。そこで、校内メンターシステムを機能させるため、3、4年目教員と若手教師、講師を組織し、主体的な学び合い活動を進めている。		
2 具体的な活動		
第1回サークル 年度初めの学級開きに向けて 1年間を気持ちのよいスタートを切るために子ども達の意欲を高める学級開きの工夫についてお互いの思いを共有する。自分が大事にしたいこと、子どものためになること、やってみて失敗したことなど自由に交流し合い、自分に合った学級開きを考えることにつながった。		
第2回サークル 初任者授業研究に向けて 初任者の授業研究に向けて若手で指導案を検討したり板書計画を立てたりした。[REDACTED]のメンバーが主体的に呼びかけての開催となったこの回では、それぞれがアイデアを出し合い指導案を検討するなど若手の学び合いが深まった。		
第3回サークル 夏季わいわい回 1学期を終え、自由に反省会をした。改まった議題は決めていなかったが、本校の研究の1つとして取り組んでいる「アセス」の結果から自学級の子どもの内面に寄り添った指導を考え合うことができた。また2学期のよいスタートを切るための準備ともなった。		
第4回サークル 事後研究会 メンバー内の一人の校内研が終わった。その後、再度[REDACTED]で検討会をした。正式な研究会では発言できなかったことや先輩職員の発言から考えたことの再確認などをしていった。		
第5回サークル 初任者研修の終わりに際して 初任者2名の研修が終わったことで、[REDACTED]の年間の総括会をした。忙しい中でも和気あいあいと活動できたこと、校内で移動せずとも集まれることなど次年度も新たなメンバーを加えて活動したいと締めくくった。		
3 次年度に向けて 次年度も大卒即採用の初任者が2名入る予定である。異動もあるが、校内でのメンター研修制度を充実させ、活動を継続させたい。		